

I 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」策定の意義

人生100年時代、元気に活躍し続けられる社会をつくる必要がある

- 幼児期から運動を楽しみながら、自ら体力を高めていく習慣を身に付けることが大切
- 東京2020大会を契機に、「だれでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができることが大切

II 子供たちの体力向上に向けた基本的な考え方

健康で活力に満ちた生活をデザインすることができる資質・能力を育む

(「未来の東京」に生きる子供の姿)



<東京型体力向上モデル>

- スポーツとの多様な関わり方（**する・みる・支える・知る**）を通じた取組を充実
- 東京の**各種専門家**等と積極的に連携
- **デジタル技術**を活用し、エビデンスベースの指導（集団から個に着目）

III 子供たちの体力向上に向けた取組の今後の方向性

<これまでの取組>

- 総合的な子供の基礎体力向上方策に基づく取組を推進
- 東京都統一体力テストの実施
 - マネジメントサイクルの活用
 - 実践事例集の作成・周知

<体力の現状、課題>

- 向上傾向にあった体力が令和3年度は低下
- ・ 個に応じた指導の質を更に向上
 - ・ **運動時間減少のスタイル定着の回避**
 - ・ 健康的な生活習慣の定着
 - ・ 多様なニーズへの対応
 - ・ **スポーツとの多様な関わり方の推進**

<体力向上施策の方向性>

- ・ **スポーツの多様な楽しみ方を学ぶ**体育授業
- ・ **関係団体等と連携した運動習慣の定着**
- ・ 外部人材等と連携した健康教育
- ・ 多様なニーズに応じた運動する機会
- ・ **スポーツへの関心を高める取組**

IV 具体的な方策

【PROJECT1】

個別最適な学びを実現する授業

デジタルの活用により、**一人一人に合った方法**で力を伸ばす取組を充実



【PROJECT2】

スポーツライフの推進

運動習慣の確立・定着・改善を図るため、効果のある取組を研究



【PROJECT3】

健康的な生活スタイルの確立

専門的な外部人材と連携した**健康的な生活習慣**を図るための取組を推進



【PROJECT4】

多様なニーズに応じた運動部活動

コンディション、トレーニングの見える化、GPSを活用した戦術立案により**競技力を向上**



【PROJECT5】

東京2020大会レガシーの浸透

オリンピックやパラリンピックの学校教育への参画による取組を推進



「TOKYO ACTIVE PLAN for students」策定に関する検討経過

総合的な子供の基礎体力向上方策作成委員会

学識経験者、学校管理職、区市町村教育委員会関係者等に委員を委嘱し、作成委員会を設置

【第1回】令和2年11月20日

- ・第3次推進計画の取組、今後の方向性等について

【第2回】令和3年2月19日

- ・各作成委員からの講演、成果指標等について

【第3回】令和3年7月12日

- ・成果指標、主な施策について

【第4回】令和3年11月8日

- ・成果指標（案）、新しい計画（案）について

児童・生徒への意見聴取

【期間】令和3年11月30日から令和3年12月8日までの期間

【方法】各学校を訪問し、代表児童・生徒に体力向上の必要性や社会の状況を説明した上で、体力向上に資する取組の意見を聴取

小学校

- ・寝るのは〇時などと決め、結果を振り返る取組が必要だと思う。

中学校

- ・オリンピックやパラリンピックの選手から教わりたい。

高等学校

- ・授業内の活動を数値化してほしい。

特別支援学校

- ・部活で変わった運動（ヨガなど）をしてみたい。



TOKYO ACTIVE PLAN for students（中間まとめ）

教育委員からの意見

- ・いろいろなデータのひも付けを、東京が先駆けて行うことは大事
- ・健康に長く生きていくためには、10代で体を動かしておくことが大事
- ・どの時期のどのような取組を教育として行うのかの視点をもつことが必要
- ・運動が苦手な子が運動する習慣を身に付けられる体育の在り方を模索することが重要
- ・支援を必要とする子供に対しては、指導する側の能力と環境の改善が必要

都民への意見募集

【期間】令和4年2月3日から令和4年2月24日まで

【方法】電子メール又は郵送

児童・生徒

- ・PC等を使って体育をすると、自分に見えない動きなどが見えるためよい。
- ・オリンピック・パラリンピックを見て、初めて知ったスポーツもあった。子供の頃からいろいろなスポーツを知ることによって興味をもてる。

保護者

- ・「どうして体育の授業が楽しくない」のか分析し、改善すればよい。

学校関係者

- ・楽しみながらスポーツに参画することにより、体力が高まる考え方に賛同。